

## まえがき 頑張れ！地域の技術者

バブル経済崩壊、失われた 10 年、そして絶え間の無い公共事業への「無駄」批判、毎年の予算シーリングによる公共事業漸減、ついに政権交代、そして「コンクリートから人へ」で“とどめ”の公共事業費対前年度 18.3%減……………。

今は我々土木関係技術者にとっては、天からこれでもか！というくらいの試練を与えられ続けています。こんなつもりで公共事業関係の職に就いたわけではないのに……。我々に未来はあるのか……………。

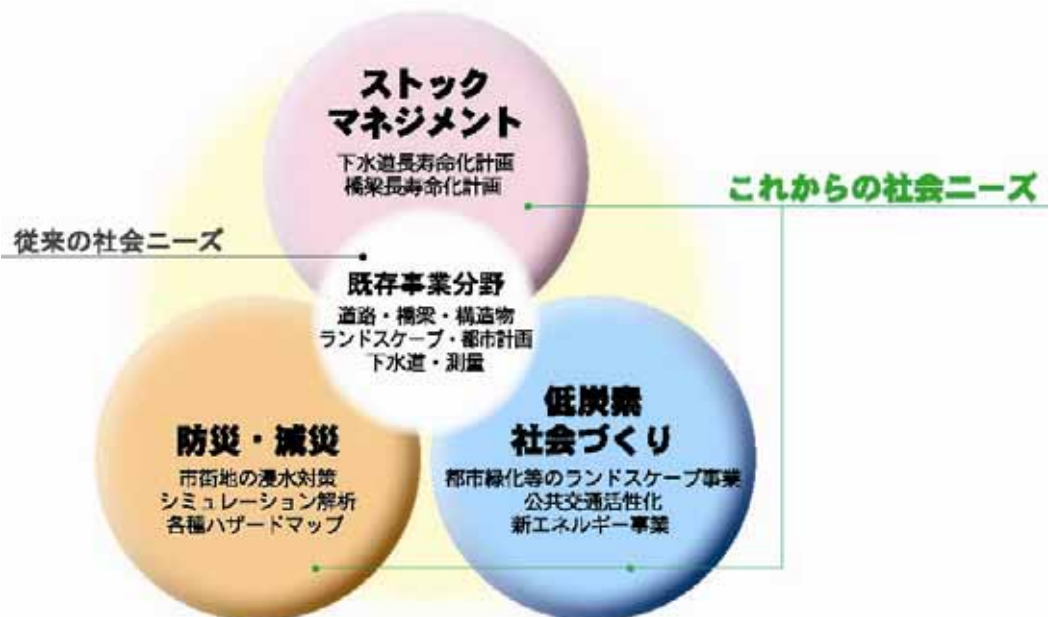
と、つい悲観的な思いにかられる昨今、実は試練や変化はチャンスとばかり、頑張っている土木関係技術者が全国にはたくさんいます。そしてこの北陸の地にも…。残業、土日出勤なんのその、公共事業にかかわり発注者にサービスを提供する立場に何よりやりがいを感じる不思議で素敵な連中。公共事業がどんなに非難されようと、我々の使命はただ一つ、コンサルティング業務を通じての地域社会への貢献。そしてその貢献対価で自らと家族を養う…。かっこよく言えば、コンサルタントの「理想の技術者」像はそんなところでしょうか…。

さて、N i X は皆様のお陰で創業 32 年目を歩んでいます。10 年前の主力を占めた部門の売上は現在ほとんど無くなってしまいました…。が、社会資本整備のこれからのニーズは何か、この 10 年真剣に考えて参りました。そしてこれからのニーズとして捉えた「ストックマネジメント」、「防災・減災」、「低炭素社会づくり」の 3 分野を重点事業として、企業形態を大きく変化させることができました。本テクニカルレポートでは、その内の 2 つの重点事業分野における、2009 年度実績について、僭越ながらご報告させていただく次第であります。内容につきましては、不十分な面も多々ありますが、本書を発刊した現在も、我々は一步一步成長しておりますので、何卒ご容赦いただきたいと思ひます。

めげずに頑張っている全国の技術者に負けないように、そして地域の「理想の技術者」集団でありたい…。その思いを胸に、これからも皆様のお役に立てるよう努力いたします。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成 22 年 6 月

(株)新日本コンサルタント 代表取締役社長 市森 友明



N i X が取り組む重点分野